

きたはなプロジェクト

きたはなプロジェクト ～地域協働による自生種を 活かした緑化活動の取り組み～



助成区分

植栽

環境保全

調査・
研究

教育・
啓蒙

実施状況

現地活動状況
(緑化活動イベント) **6回**

緑化実績
(海浜植物6種)

約1500株

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

- ・オホーツク海に面した国道244号法面において、原生花園自生種を用いた緑化を行う。
- ・自生種のうち最も色鮮やかで目立つ花を咲かせるエゾスカシユリ・エゾキスゲの導入が遅れているため、発芽・育苗・移植法の確立を進めている(発芽率・得苗率向上のための手法開発・苗の量産体制充実)
- ・道路法面へ導入する緑化対象種をさらに増やす。



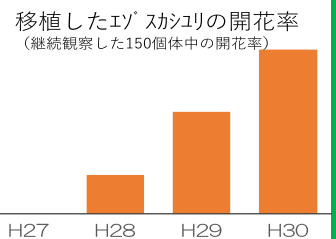
活動内容

北海道オホーツク海沿岸には、海浜植物からなる自然草原が点在しており、鮮やかな花が多数見られるエリアは特に「原生花園」と呼ばれています。本活動は、オホーツク海に面した網走市北浜地区を通過する国道244号の道路法面において、近隣に位置する原生花園の自生種を活かした緑化(きたはなプロジェクト)を行っています。市民団体・自治体・研究教育機関・企業・道路管理者による連携のもと、平成17年度より自生種の採種・播種・育苗・苗移植や現地観察会等を行ってきたほか、その活動成果(主に発芽・育苗・移植手法について)に関する学会発表も継続して行っています。これらの活動は、断片的な道路法面の緑化に留まらず、周辺に位置する原生花園との連続的な沿岸景観の創出や、地域固有の植物種群の保全にも貢献するユニークな取り組みであると考えています。



成果

- ①平成30年6月17日 ヨモギの抜き取り ■北浜法面の移植箇所を中心に、ヨモギの抜き取りを実施
- ②平成30年6月24日 白鳥台小学校総合学習 ■濤沸資料館会長を講師に招き植物観察会を実施
- ③平成30年10月4日 種採り会 ■北浜法面にてアヤメ等5種の種子、合計約百万粒の採種を実施
- ④平成30年10月13日 日本造園学会北海道支部大会で口頭発表 ■奨励賞を受賞
- ⑤平成30年10月25日 種まき・移植会 ■北浜圃場及び北浜法面にて、アヤメ等4種の合計約千万粒の種まきを実施し、エゾスカシユリなど6種の合計約千五百株の苗移植を実施
- ⑥平成30年10月26日 白鳥台小学校種まき・移植会 ■北浜法面にて児童の育てたエゾスカシユリポット苗約50株を移植し、北浜圃場にて、アヤメ等4種の合計約五万粒の種まきを実施



工夫した点

- ・当プロジェクトでは、地域固有の自生種(海浜性植物)による道路法面の緑化活動を中心に据えながら、各参加団体は個々の立場や得意分野を活かすことで、主体的となる活動をそれぞれ分担している。
(地元NPOや活動団体等:緑化現場活動、大学:緑化手法の研究開発、道路管理者や自治体:活動場所の提供と意見交換会の調整)
- ・活動の基本スタイルとして、周辺地域の自生種の種子を採取し効率的かつ効果的な発芽・育苗方法を研究開発することで、常に最適な手法へと更新しながら発芽・育苗・法面移植を行っている。

今後の課題

- ・これまで導入が遅れていたエゾキスゲについて、過年度の取り組みの成果を活かし積極的な苗生産・移植を行っていく予定である。
- ・ヨモギの抜き取りやゴミ拾い等の美化活動について、イベント毎に実施可能かどうかを検討する。
- ・エゾスカシユリのポット育苗里親制度の拡大について検討する。
- ・道路通行者からみた移植成果の視覚的な認知向上だけでなく、きたはなプロジェクト自体の認知度向上について、集中移植区域の設定やHPコンテンツの充実をはじめとする多面的な手段を検討する。

